

## 第4章

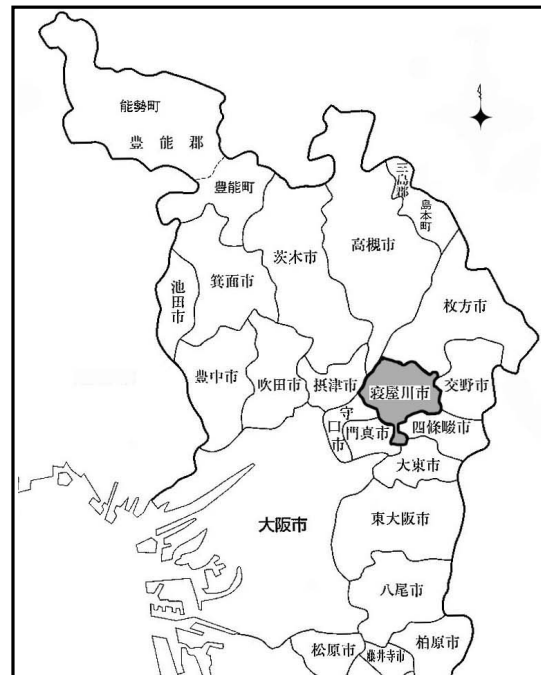
## 市の地理的、社会的特徴

### 第1節 地理的特徴

寝屋川市は、大阪府の北東部、淀川左岸に位置し、大阪市域の中心より15km、京都市域の中心より35kmの位置にある。また、本市の西側は淀川を境として高槻市と摂津市に、東側は交野市に、北部は枚方市に、さらに南部は守口市、門真市、大東市、四條畷市にそれぞれ隣接しており、北河内地域の中心部に位置している。

本市の経緯度及び面積等は次のとおりである。

【位置図】



位 置	極 東	東経 135 度 39 分 44 秒 北緯 34 度 46 分 01 秒	極 南	東経 135 度 38 分 02 秒 北緯 34 度 43 分 42 秒
	極 西	東経 135 度 35 分 13 秒 北緯 34 度 46 分 03 秒	極 北	東経 135 度 36 分 52 秒 北緯 34 度 47 分 29 秒

#### 1 山地

市域の南東縁の打上付近に生駒山地北西縁から続く高度100m～110mで南北方向の稜線を持つ山地が小分布する。

#### 2 河川

本市は、全体に淀川水系に属し、この支川に寝屋川、たち川、打上川、讃良川、南前川、岡部川、清滝川、江蟬川、古川などの一級河川があり、これらの河川はほとんど天井川である。

#### 3 池・沼

市には23の池・沼が存在し、農業用水や防火用水等として利用されている。

#### 4 平野

##### 氾濫平野

市域の西半分を占める淀川及び寝屋川の氾濫原は、東部の丘陵の縁辺部では標高5

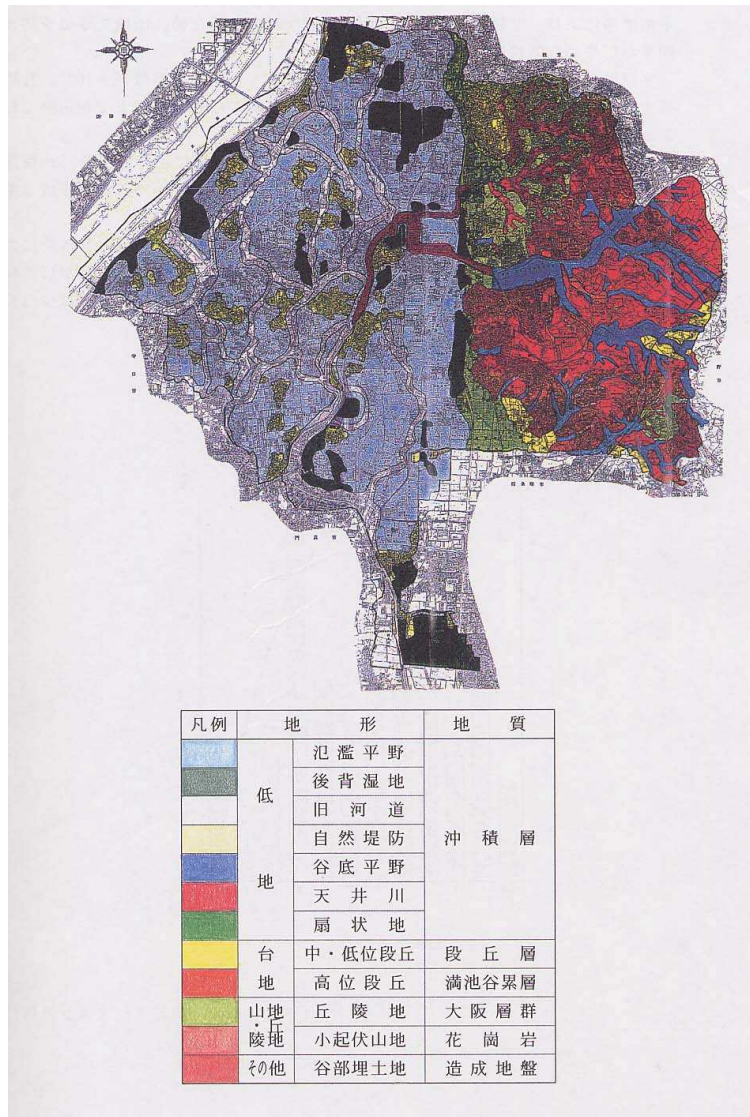
m前後であるが、西へ向かって標高が低下し、西部の淀川沿いで2 m前後となっている。

### 後背湿地

西部の淀川沿いや南縁の寝屋川左岸、東部丘陵に近い低地部などには、標高2 m未満などの後背湿地が点在している。

### 谷底平野

東部の台地を刻む北谷川、たち川、宇谷川、打上川などと、それらが合流した寝屋川沿いに幅100～300mの谷底平野が開け、その両岸に高さ10～20mの急斜面が続く。また北部では丘陵内に樹枝状に南前川水系の狭い谷底平野が入り組み、南部では生駒山地の西斜面に発する楠根川、讃良川等に沿って、東西方向の幅50～100mの谷底平野が続く。



## 第2節 気候

本市は、東の生駒山系からのびる東部丘陵地と淀川流域を中心に京都までのびた平坦地帯にあり、北摂の山々と生駒山地に囲まれているため、山地で寒気を防ぎ、四季おだやかな気候に恵まれている。

気温は、大阪市内と大きな相違はなく、年平均気温は16～17℃で、夏の気温はやや高く、7月下旬から8月上旬までが最高で日によっては、38℃に達することもある。

降雨量は、年間1,310mm（平成16年）であるが、梅雨期や台風期には時間雨量30mm程度の集中豪雨がたびたび発生し、低地浸水等の被害を生ずることがある。（平成9年8月7日豪雨：75mm / 1時間、観測点：点野）

## 第3節 人口分布

本市は、昭和26年（1951年）5月3日に人口31,061人で市制を施行し、昭和30年代後半から40年代末にかけての高度経済成長期に大阪都市圏の衛星都市として人口が急増し、昭和35年（1960年）から昭和45年（1970年）までの10年間に人口が4万5千人から20万6千人と約5倍に膨れ、昭和50年（1975年）には、人口25万4千人、人口密度が1万人を超える都市に成長した。

### 1 常住人口（夜間人口）と昼間人口

市の常住人口（夜間人口）は241,825名で、流出人口は81,295名、流入人口は42,148名となっている。したがって、昼間人口は211,006名となり、昼夜間人口比率は84.4%となる。（資料「寝屋川市の人口 - 平成12年国勢調査結果報告書 - 」）

### 2 外国人登録者数

本市の外国人登録人口は、3,331名である。

主な国籍としては、韓国・朝鮮、中国、ブラジル及びフィリピンとなっている。（資料「寝屋川市統計書2005年版」）

## 第4節 道路の位置等

### 1 主な一般道路

市内には自動車専用道路として、平成21年度中に第二京阪道路が供用開始予定であり、幹線道路網としては、市の西端部に国道1号、西部には、府道京都守口線が南北に走り、中央部には、府道八尾枚方線が南北に縦断、また、国道170号が中央部から南に延長している。

市内を横断する道路としては、市道池田秦線、府道国守黒原線が市の中央部を東西に走り、市の南部を国道163号線が東西に走っており市の物流の要として存在している。

### 2 自動車保有台数

本市域内にある登録自動車の台数は128,963台あり、その内訳は、普通乗用車24,980台、小型乗用車36,847台、バス188台、普通トラック2,649台、小型トラック5,606台、2輪車3,128台、4輪貨物9,347台、4輪乗用12,680台、自動2輪2,430台、原動機付自転車31,108台となっている。(資料「寝屋川市統計書2005年版」)

## 第5節 鉄道の位置等

本市域内の交通網としては、京阪電車、JR片町線が走り、京阪電車は市の中央部を南北に走行し、萱島駅、寝屋川市駅及び香里園駅の三駅があり、通勤通学の重要な交通手段となっている。

また、JR片町線は市内の東部を南北に走り、市内には東寝屋川駅があり大阪市内等への通勤、通学の足として重要な存在となっている。